

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2016年9月9日（金）

第663号 本号3頁

米、核先制不使用宣言を見送りか！ 日本などの反対表明が“影響”？

6日付の米紙ニューヨーク・タイムズは、複数の米政府高官の話として、オバマ大統領が検討中とされる核兵器の先制不使用宣言を見送るもようだと伝えました。宣言が同盟国との関係を損ねかねず、ロシアや中国を勢いづかせる恐れがあるという反対意見が政権内から相次いで出たためだとしています。

オバマ氏は、来年1月の任期終了までに、核軍縮に向けた一連の政策転換を検討していると伝えられ、核先制不使用宣言が最も大胆な措置になるとみられていました。核先制不使用は、核攻撃に対する反撃を除いて、核兵器は先に使わないという政策です。

同紙によると、ここ数カ月、核軍縮推進派は、大統領の唱える「核兵器なき世界」の追求に当たり、先制不使用方針の誓約が最も大胆な措置になると主張してきました。しかし、国家安全保障担当の顧問らはこの夏に開かれた会議で、先制不使用宣言は日本や韓国などの同盟国を動揺させると警告したといいます。またカーター国防長官は、ロシアや北朝鮮が宣言を「米国の弱さの表れ」として解釈する危険があると強調。ケリー国務長官もロシアや中国の動向を念頭に、宣言を出す時期ではないと主張しました。

すでに紹介しましたが、オバマ氏の核先制不使用宣言をめぐることは、ワシントン・ポスト紙が8月半ば、安倍晋三首相が「抑止力を弱める」として反対する意向を米側に伝えていたと報じました。

被爆国の日本の首相が反対の意向を示し、それも影響して、米国の核先制不使用宣言が見送りとなったとすれば、大きな問題です。



「ヒバクシャ国際署名」の運動広がる！ 青森でも「6・9行動」

原水爆禁止世界大会から1ヵ月が過ぎましたが、今、国連総会に向けた核兵器廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」の運動が活発に行われています。

青森では6日、青森市原水爆禁止の会が広島と長崎に原爆が投下された6日と9日にちなみ、「核兵器をなくそう」と宣伝・署名を呼びかける「6・9行動」を、青森市新町商店街で行いました。

じんわりと汗が流れる蒸し暑い昼中、「核兵器は二度と使わせない。被爆者の願い実現させよう」「核兵器と人類は共存できない」との被爆者の声が世界を大きく動かしています。みなさんの署名が大きな力となって世界を変えます」と市民へ訴えながら「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（ヒバクチャ国際署名）への協力を呼びかけました。

署名に応じた高校生は「僕は、核兵器とか戦争で死にたくない。生きていたいから、核兵器はいらない」と話しました。弘前市在住の男性は、「高齢となっている被爆者の思いや訴えを、私たちが継いでいかなければと思っています。皆さん活動を、もっと広げて市民に発信してほしい。応援しています」と語りました。30分の行動で、20人が署名に協力しました。

憲法共同センター第3回総会 共同の広がりの中 憲法守りいかす、運動拡大・役割発揮を

憲法共同センターは6日、全労連会館で第3回総会を開催しました。総会には28団体45人が参加しました。

主催者を代表してあいさつした全日本民医連の岸本啓介事務局長は、「今年の9月19日から、私たちは力強い歩みで、希望をつくり出してきました」「憲政史上初となる野党共闘には、1人区などで多くの有権者が未来を託しました。市民と野党の共闘を支え、拓げていきましょう」と述べました。そして、改憲勢力が3分の2の議席を占めたことについて「安倍首相は、選挙中には改憲を語りませんでした。国民の声を聞かない強権政治は、さらに大きな抵抗にあう」と指摘し、「戦争をさせない、憲法9条を守るもっと大きな運動をつくっていききたい」と語りました。

次に、日本共産党の笠井亮衆議院議員が情勢報告と、今年26日開会予定の臨時国会でのたたかいについて語りました。

その後、共同センター事務局の全労連・盛本達也氏が方針を提案しました。今後のたたかいの基本的な構えとして、①戦争法の発動を許さず、廃止を求める取り組み、憲法を学び、守りいかす運動に全力をあげる。②次の国政選挙を焦点に、野党共闘のさらなる前進を求める。③総がかり行動実行委員会に結集してつくりあげてきた市民と団体の共同をさらに深化、発展させる、の3点を報告。さらに、具体的なとりくみとして、憲法を守り生かすことを目的としたアピール署名を、広範な共同で実施することをめざして、検討を開始すること。また「駆けつけ警護」などの新任務が付与される、南スーダンへの自衛隊の派遣に対する緊急署名と、沖縄・辺野古への米軍新基地建設などについての署名も総がかり行動実行委員会などで検討されていることを報告しました。

参加者からの発言では、「戦争法廃止を求める2000万署名」や、市民と野党の共闘でたたかった参院選の経験等が語られました。新婦人・油原通江平和部長は、「マラソン大会のゴール前で集めた人もいた」等と、「2000万署名」のさまざまな取り組みを紹介、目標100万人に対して、120万人以上寄せられたことを報告しました。

さらに、全労連・長尾ゆり副議長、民主青年同盟・小山農委員長、兵庫労連・津川和久議長らが、発言しました。小田川義和全労連議長が、改憲勢力の動きに関連して「改憲案を出させない、発議させない世論と運動の構築を」と強調しました。総会は最後に、取り組みの報告・方針とともに、決算・予算を拍手で確認しました。

各地のとりくみ

全国各地で市民は「戦争法廃止」「憲法改悪反対」「憲法を守り・生かそう」と大奮闘しています。

香川 戦争法廃止を求めて商店街を55人がデモ行進

香川革新懇と9条の会かがわは6日、戦争法廃止を求めて高松市の商店街を55人が参加して、デモ行進しました。参加者は、「若者を戦場に送らせない」と書かれた横断幕などを手にアピールしました。30分の行進でしたが、「戦争法は憲法違反」「民主主義はこれだ」などを唱和し続け、市民にアピールしました。

自転車を止めて、デモを見ていた男性は、「高松空襲を体験し、戦争は絶対いけない。安倍首相をこのまま続けさせたら危うい」と述べ、高齢の女性は「私の兄は戦争に行っただけをして私もつらい思いをした。こういう運動にみんなで参加しないといけない」と参加者に声をかけました。高松市の末光甲正さんは「選挙中は何も言わず、選挙が終わったとたん憲法改正を言い出すのは許せない。きちんと跳ね返していきたい」と語りました。

デモに先立つ集会で、香川県労連の堤昭議長、新日本婦人の会高松支部の松井治子副支部長が「力を合わせて戦争法を廃止しよう」と呼びかけました。

長野 安曇野市穂高で3日、スタンディング宣伝

安曇野市穂高で3日、スタンディング宣伝が行われました。9条の会、新婦人、共産党支部などでつくる穂高各界連絡会と市民団体の共催です。

15人の参加者は、メッセージボードを手に、午後1時から通行する車に向けてアピールしました。60代の女性たちは「憲法を足蹴にして、原発は再稼働。それに年金のお金はすっちゃったじゃないの、14兆円って、何よ」と怒り、「選挙の時には改憲なんて一言も言っていないのに、だますようなやり方は許せない」「アベ政治終わらせるまで続けるわよ」と次々に語りました。

介護事業所を運営している女性は「利用者さんたちは戦争をくぐり抜け、戦後の繁栄をつくってきた方たち。それなのに人生の終わりに戦争法なんて、絶対ダメ」「お年寄りに冷たい政治ばかり」と語りました。

「いつも、気持ちはあっても来られないが、今日は仕事が休みなので」という参加者もいました。塩田善次郎さんは「スタンディングアピールは、3日と月2回の金曜日に続けている。憲法カフェなどの学習会もやってみたい」と語りました。

北海道 若者グループ「ユニキタ」、大通公園で憲法を守ろうと対話宣伝

戦争法廃止を求める若者グループ「ユニキタ」(UNITE&FIGHT HOKKAIDO)は、5日夜、市民や観光客でにぎわう札幌・大通公園で政治の実態を広め、憲法を守ろうと対話宣伝を行いました。

メンバーは日本国憲法の文言を羅列したデザインボードを見せながら、公園で過ごしていた女子高校生らに話しかけ対話を進めました。高校1年生の2人組は、「原発のゴミをどうするか決まっていらないのに動かしていて反対です」、「大学進学しようと思っているけど、学費が高くて悩んでいます」と話しました。

メンバーが思いに寄り添いながら「安倍さんは憲法を変えようとしていて、原発や進学とか人権を守らなくてもいいものに変えようとしているんだよ」と話すと、「え？そうなんですか？」と驚きの声をあげ、「憲法を守ってほしい」と言いました。

口をそろえて「戦争反対」と言う高校1年生の4人グループに、メンバーが北海道の自衛隊が南スーダンに派遣されていることを伝えると、「絶対イヤです。一緒に止めましょう」と答えて、すぐにユニキタのツイッターをフォローしました。

宣伝後、メンバーの更科ひかりさん(30)は「全世代の人といっしょに憲法を守る運動をつくっていききたい」。伊藤ナシカさん(25)は「政治のことをタブーじゃなく話せる雰囲気ユニキタでつくっていききたい」と意気込みを語りました。



公布70年・憲法講座「今こそ、守り生かす! 日本国憲法」

*講座 渡辺 治 一橋大学名誉教授 一「憲法をめぐる参院選後の情勢と課題」(仮)

*国会報告 日本共産党国会議員

と き 10月10日(月・体育の日)10時30分から13時00分

ところ 全国家電会館5階講堂 資料代1000円(学生500円)

【詳細はホームページで】